

1. 建物概要

建物名称	(仮称)サンベスグループ掛川工場倉庫新築工事	BEE	1	BEEランク	B+	★★★
------	------------------------	-----	---	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.8	/5	 ふつつ
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	2.5	/5	 がんばろう
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	4.0	/5	 よい
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	2.7	/5	 がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上 ふつつ 3 点以上 がんばろう 3 点未満

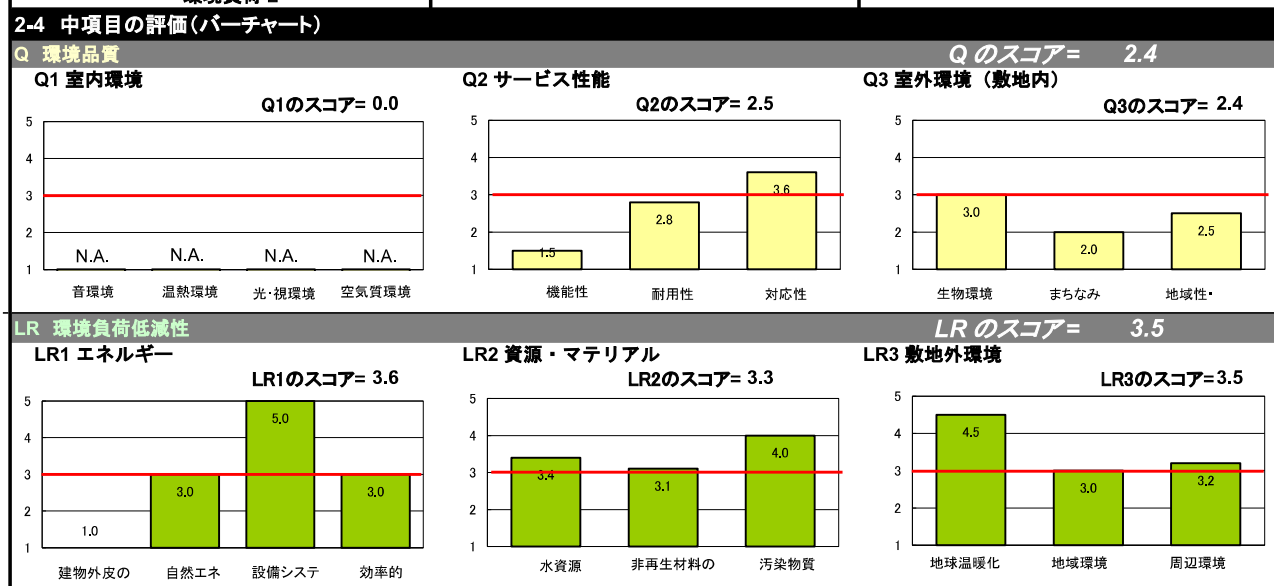
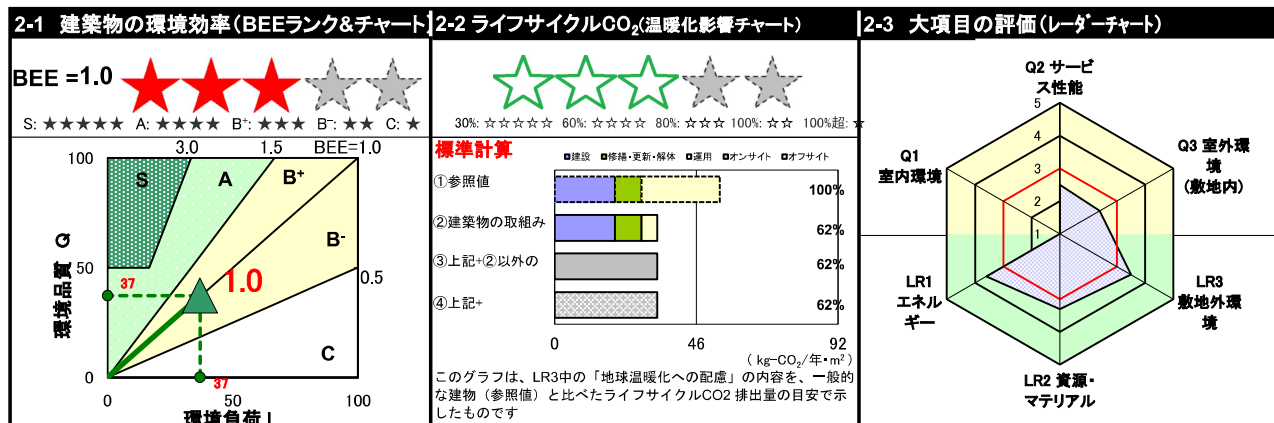
3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.8
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 特になし ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 特になし ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型便器の採用 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮主風向に対する見付け面積比を40%以下とした。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 屋光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 屋光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔		
	LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制		
	LR-2 1 ⑪ 節水 1.2 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒		
	LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	2.5
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法に適合した耐震計画	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備		
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	4.0
 ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱階高3.7m以上 ⑲壁長さ比率0.1以下 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ		
	Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上		
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.7
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ㉒周辺のまちなみに標準的な配慮をしている ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 2 ㉒ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上		
	LR-2 2 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材		
	LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善		

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)サンベースグループ掛川工場	階数	地上1F
建設地	静岡県掛川市大淵字新井前1410-2	構造	S造
用途地域	無指定、市街化調整区域	平均居住人員	10 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2025年11月1日
敷地面積	6,280 m ²	作成者	栗木義明
建築面積	2,889 m ²	確認日	
延床面積	2,863 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)における評価結果です。 敷地内に既存緑地を保全し、建物の空間にゆとりをつくることにより将来の変化へも対応できるように計画している。		その他 特になし
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 空間にゆとりを持たせている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の既存緑地の保全をしている
LR1 エネルギー LED照明の採用	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を採用	LR3 敷地外環境 十分な駐車スペースを確保している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される